

地区協わかば

発行者:若葉学校地区協議会
会長 藤丸 卓男
事務局:調布市立若葉小学校内
連絡先:調布市協働推進課
042(481)7036
地区協mail:
wakabatikukyo2009@gmail.com

2020年度を振り返って

「今年（2020年）はオリンピック・パラリンピックがあり、20のゾロ目で、しかも年男（鼠年）でもあるので、良い年になるぞ」と私自身期待に胸を膨らませたのですが、年明け早々中国の新型コロナウイルス感染症のニュースが入り、瞬く間に感染が全世界に拡大して世界の状況が一変しました。

日本では4月に緊急事態宣言が出され、不要不急の外出や会食の自粛など、さらに3密（密閉、密集、密接）を避けるなどの徹底が要請され、当地区協議会も3密を避けるため、役員会は屋外や広い部屋での開催となり、運営委員会や総会を中止せざる得ない状況となりました。この様な中、総会議案である2020年の事業活動については、異例の役員会による議案採決となりました。

各事業活動状況については下記の通りです。ただ、各事業活動のうち防犯パトロールと美化運動は緊急事態宣言が解除された後、外での活動ということもあり、7月から再開しました。しかし今年の1月に再度緊急事態宣言が出された後は中止しております。若葉小学校では新学期の延期（6月1日から再開）、運動会やわかばステージなどがすべて中止になり、保護者会も対面からオンラインになっております。

このように2020年は新型コロナの感染拡大に伴い全ての活動が休止に追い込まれました。地区協議会ではこの新型コロナの感染が2021年には早期に収束して、学校や事業活動が元のように行えるよう願うばかりです。

最後に災害はいつ起こるかわかりません。このような状況下でも日頃の準備は怠らないよう地区の皆様をお願いいたします。

（2020年度各事業状況）

- ・会議体：役員会 5月（外）6月（外）7月、9月、11月、2021年1月中止
運営委員会は開催なし
- ・防災推進委員会：防災訓練中止、安否確認訓練実施（11月）防災座談会中止
- ・防犯推進委員会：6月に新1年生の安全確保のため、分散登校期間PTAとともに見守り活動の実施
防犯パトロール 7月から12月まで月2回実施、以後中止
美化運動は防犯パトロールとともに実施、防犯座談会中止
- ・広報・地域交流推進委員会：広報誌の発行を年2回から1回に変更
地域交流の「若葉の杜の音楽会」中止
- ・その他：「防災教育の日」・「夏まつり」・「地域運動会」・「新春お茶会」中止、
「まち活フェスタ」オンライン開催（3月）

（会長 藤丸 卓男）

新任校長先生のご挨拶



今年度、4月に着任した生野（いくの）と申します。 よろしくお願いたします。 前任校は調布五中で、その前は調布中におりました。子供たちの健やかな成長を目指して教育活動を行って参ります。つきましては、若葉学校地区協議会の皆様には、本校の教育活動へご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

（第四中学校校長・生野まゆみ）

防災訓練「安否確認訓練」を実施して

令和2年度若葉地区協主催の防災訓練は新型コロナ感染対策の観点から、地域住民が集った防災訓練は実施せず、「密」とならない安否確認訓練を自治会を中心に、情報連絡訓練を地区協と自治会間で、11月8日（日）を中心に実施をしました。

今回の安否確認訓練は、災害発生時に、我が家（家族）は無事という印に、旗やタオルなどを玄関先やベランダ等の外からわかる場所に掲げてもらうことで、安否のわからない家（タオルの出していない家）で人命に危険を及ぼす『逃げ遅れ』、『家具転倒等による負傷』などを早期に発見し、救助につながるための取り組みです。

今年度は若葉町、若竹、新野川、かすみね、蟹沢と新たに都営入間町3丁目やよい会が参加し、9時までにタオルや旗を掲げ、自治会役員が確認にまわり10時30分に終了しました。

事前実施の入間町1丁目、若葉町3丁目自治会を合わせ9自治会で実施しました。協力してくれた世帯率は全体として47%で昨年とほぼ同じでした。表に自治会別の安否確認状況を示します。

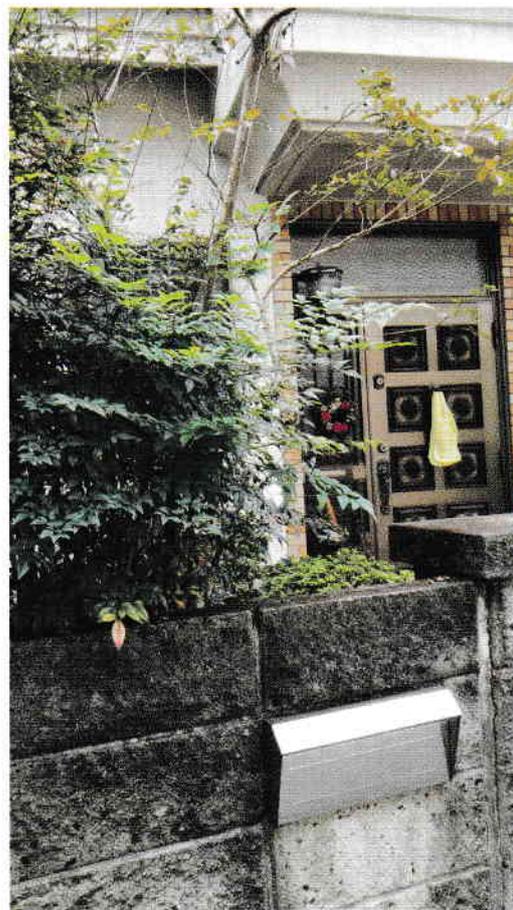
今回は安否確認の単独訓練で広報活動を少し欠いた面もありましたが、コロナ禍で回覧板も順調に回らない状況のなか、各自治会が良く頑張ってくれました。

併せて、電話などの通信インフラに甚大な被害が出て通常の携帯電話などの通信手段を使用できない状況を想定し、入間町1丁目、若葉町自治会と地区協防災本部との間で簡易無線機により情報連絡訓練の確認を行い、円滑に実施できました。

今年は東日本大震災から10年となります。あの時を思い出し、コロナ禍のなかでもできる地域の防災を考えていきましょう。



蟹沢自治会



京王若葉自治会

表 安否確認訓練実施状況

N O	自治会名	世帯数	参加世帯数	外出等	実施率 (%)
1	入間町1丁目自治会	500	222		44
2	新野川自治会	37	21		57
3	かすみね自治会	33	9		29
4	若竹自治会	146	74		51
5	蟹沢自治会	43	18		42
6	都営入間町3丁目やよい会	16	13	3	81
7	京王若葉自治会	178	53		30
8	若葉町自治会	450	232		52
9	若葉町3丁目自治会	64	51		80
	合計	1467	693		47

(防災推進委員長 渡辺 要三)

安否確認訓練をして

令和2年11月8日(日)に、若竹自治会では安否確認訓練を実施いたしました。コロナ禍で班長会議が出来ず、各班長にメールで実施の案内を流し、回覧にて自治会員の皆様にはお知らせをしました。

146世帯中74世帯が訓練に参加してくださいました。

感染対策に気を付けながら、日頃から挨拶や声掛けを忘れず、ご近所の方と関わりを持つことで、有事の際にはお互いに助け合える地域になると信じております。

ご協力いただいた皆様、有難うございました。

(若竹自治会会長 大槻 結)

若葉小学校児童急増中

近年、若葉小学校に入学する児童が急増しているため、教室の増設が行われています。写真はその様子ですが、まるで工事現場の事務所のように見えます。

地区協としては、このような変化に合わせて、防災・防犯活動を見直していく予定です。

皆様のご協力をお願いします。

(会長 藤丸 卓男)



防犯活動報告

新型コロナウイルスの感染拡大により、防犯活動も御多分にもれず影響を受けた。

未経験の感染症であることから、恐れや不安が先行し、人々の行動にも格差が生じた。又、高齢者の感染は重症化リスクが高いことが判明し、メンバー構成から勘案して、集合を回避せざるを得ぬこととなった。

その中であって、防犯パトロールは、緊急事態宣言等、間隙を縫って、ソーシャルディスタンス保持やマスク着用等の感染対策に徹しながら、かろうじて10回実施することが出来た。写真は、調布市防災安全課職員の参加があった年末パトロールの時のもの。

会議については、大きな課題がなかったこともあったが、パトロール終了時の打ち合わせやメールの活用を持って、業務連絡を行った。



若葉小学校においては、分散登校や校内の消毒等の感染対策が繁忙を極めたことから、教員による児童の登下校時における見守り活動実施が困難となった。特に1年生については、入学以来交通安全や防犯についての実践指導を受けることなく通学しており、安全確保上サポートが不可欠と判断されたので、6月2日から12日までの間、交通安全協会・近隣自治会・地区協の有志延べ71名により、交通安全指導を実施した。

また、6月15日からの一斉登校再開にあたり、1年生については、6月15日から19日の間、PTA・健全育成・各自治会・子ども会・地区協の協力により、集団下校時に自宅近辺までの見守りサポートを実施した。参加者は延べ126名であった。

コロナ禍にあって、地域の安心安全に資するため、ご尽力頂いた皆様方に改めて心から感謝致しております。

さて、警察の情報によると、自粛生活によって、在宅者が多いこともあって、空き巣が減少しているとのこと、不幸中の幸いであります。また、防犯パトロールの減少により、不審者の増加が懸念されるようですが、今のところ大過なく安堵しております。

しかしながら、困窮者の増加やストレス過多など一歩間違えば犯罪に繋がる要因もあるので、この状況（コロナ禍）が1日も早く収まることを願って止みません。

(防犯推進委員長 元部 欽司)

●●● ご意見・ご要望をお寄せください ●●●

現在地区協議会では、地域のネットワーク作りをはじめ、防犯・防災等において地域の安全、安心、減災に取り組んでおります。地区協議会の活動に関心のある方のご意見・ご要望をお待ちしています。お気軽に、下記へメールしてください。

メールアドレス:wakabatikukyo2009@gmail.com